200万人のスポーツイベント

チャレンジデー 2017

【実施日】5月31日（水）　午後9時まで

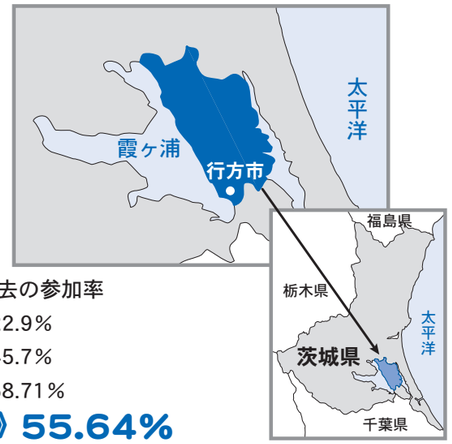
～チャレンジでぇ！広げよう笑顔と健康、地域の輪～

３年連続金メダル！参加率 60％以上を目指します

北秋田市の人口 33,417 人　60％以上の参加は 20,051 人以上が必要です
１日15分以上の運動で、後日配付します『参加報告書の提出』により参加となります

対戦相手は茨城県行方市（なめがた）に決定！

行方市は、麻生町、北浦町、玉造町の３町が合併し、平成17年９月２日に誕生、茨城県の東南部にあり東京都心から約 70km、県都水戸市からは約 40km に位置しており、面積は 166.33 ㎢、霞ヶ浦と北浦を併せると 222.48 ㎢となります。北は鉾田市と小美玉市、南は潮来市に隣接し、東は北浦、西は霞ヶ浦があります。また、霞ヶ浦の一部は水郷筑波国定公園に指定されており美しい景観を有しています。



◆行方市の情報
【人　口】 36,121 人
【面　積】 166.33 ㎢
【参　加】 ７回目
【昨年度】 不参加（2015 年の参加率 50.3％）

◆北秋田市の過去の参加率
《2013 年》 22.9％
《2014 年》 45.7％
《2015 年》 58.71％
《2016 年》55.64％

参加者には抽選で行方市の特産品が当たります

チャレンジデーを契機とした交流と北秋田市のＰＲ活動も兼ね対戦市の「行方市」と特産品の交換を行います。交換した特産品は参加報告された方の中から抽選で当たります。参加報告の提出をお願いします。

【応募資格】 北秋田市に住所を有する全ての方
【応募期間】 ５月 24 日（水）～ 31 日（水）
【応募方法】 チャレンジデー 2017 参加報告書に氏名・住所・電話番号を記入し参加報告をする。
【当選発表】 当選者への引換券の発送をもってお知らせします。

チャレンジデーとは

毎年５月の最終水曜日（今年は５月 31 日）に、実施される住民参加型のスポーツイベントです。
人口規模がほぼ同じ自治体同士で、午前０時から午後９時までに市内で 15 分以上継続して体を動かした人の「参加率」を競い合います。負けた市は相手の市旗を１週間庁舎に掲げるという、ユニークなルールです。今年は、全国の 128 自治体、県内の全 25 自治体が参加します。

（お問い合わせ）スポーツ振興課　☎62-3800

環境コラム 第２回

文化財に豊かな自然！ゴールデンウィークは北秋田の魅力を再発見！

５月はゴールデンウィークの連休を活用して、私たちが暮らしている近くにありながら、出かける機会がなく見逃している市内の魅力ある文化や自然に触れてみてはいかがでしょうか。

北秋田市には、文化財が97件あるほか、豊かな自然を楽しめる森吉山など県内外に発信している魅力あるスポットがたくさんあります。こうした自然環境や文化財は、先人たちから受け継がれてきたものであり、後世に伝えていくべきかけがえのないものです。今を生きる私たちは、見て、触れて、楽しんだ感動を伝えていくために、保全や保護活動をしていかなければなりません。

市の環境基本計画では、自然環境や生活環境はもとより、歴史・文化的環境にも目を向けています。歴史・文化的環境面では、「みんなで環境について考え行動するまち」を目標として、「市の文化などに関心をもち、継承に協力します」などの市民が取り組むべき事項を盛り込んでいます。また、自然環境面では、「豊かな自然と共生し未来につなげるまち」を目標とし「森林、公園、河川などに、ごみのポイ捨てなどをせず、きれいな維持管理に協力します」などの取り組むべき事項を掲げています。

取り組み一つ一つは、環境を思いやる気持ちを持つことで達成できる些細なものですが、小さな積み重ねが環境問題の対策にはとても重要です。

北秋田の良いところを見つけた際には、それを継承し、誇りある故郷にしていくためにできることを考えてみてください。

ピックアップ！
北秋田市の文化遺産をまとめた冊子も発行しています。ご活用ください。

私が見た北秋田
Kitaakita from My Eyes　NO.10

「ピステン・ツアー」

今回のテーマは夜の遊びです。
いや、いや、そういう意味ではありませんよ！
２か月ほど前にさかのぼる話ですが、森吉山で夜の樹氷を観賞してきました。今は雪が解け、春の暖かい日差しの中、寒い冬を振り返るのは申し訳ない気持ちもありますが、私は冬スポーツ・マニアなので何卒お許しを。

晴天であれ、吹雪であれ、毎年のように阿仁スキー場のゴンドラに乗って、靴をビンディング（スキー板に靴を固定するための器具）に挟みつつ、巨大な化け物の形をした木々の様子を観賞します。その瞬間のフィット感はビンディングのおかげだけではありません。スキーの魅力の一つは、自由感や良い意味での孤独感のようなものを感じられるところです。昼間の樹氷平にもそう感じますが、真っ黒な夜の光景はまた別格です。晴れると夜景が素晴らしいようですが、私が行った日の夜は曇りで、本当に自分だけの世界に入り込んだような気分でした。もしかすると、ホラー映画の設定？おまけにスノーモンスター（日本語では「樹氷」）も！

実際にモンスターたちは鳴き声を発しませんが、代わりにピステン（圧雪車）のエンジン音がすごい迫力でした…！